

## 1 取組の概要及び成果等

### (1) 取組の概要

#### 第1日

- ハイキング登山による目的地までの踏破
- 入所式・オリエンテーション
- 学級旗づくりの話し合い
- 星空観察

#### 第2日

- 野外炊飯（AETとの共同作業）
- 構成的グループエンカウンター（AETとの共同作業）
- スタディタイム（家庭学習習慣の確立と教え合い学習・個別援助）

#### 第3日（昼間は学校で）

- 学力診断テスト
- 校内陸上競技会の練習
- スタディタイム

#### 第4日（昼間は学校で）

- 学力診断テスト
- 校内陸上競技会の練習
- ふれあいタイム（グループで楽しく交流・ゲーム）

#### 第5日

- 退所式
- 事後アンケート，作文の記入

#### ※その他日常活動として

- ・ 所内清掃などのボランティア・当番活動
- ・ 朝食前の読書タイムの実施

### (2) 特に工夫や配慮をした事項

- ハイキング登山については事前踏査を行って安全面の配慮をするとともに、体力面で不安のある生徒について個別の配慮を行って、楽しく安全な行程になるように工夫した。
- 学級旗づくりでは出発前の美術の授業でオリエンテーションを行ったり、イメージについてのアンケートを実施したりして当日の話し合いが有意義になるような準備を進めた。後日話し合いをもとにアイデア画を完成し、学級旗づくりを実行委員を中心にすすめて、校内陸上競技会で応援を盛り上げることができた。
- 星空観察では本格的な天体望遠鏡を提供していただき、専門的な見地から指導していただけるように、事前の渉外・連絡を十分に行った。
- 構成的グループエンカウンターの活動では、事前に土浦市教育委員会教育相談室と連絡を取り、ワークシートなどの準備を進めた。当日振り返りの時間を設けることで自己を見つめる時間を設けた。
- スタディタイムを設けて、ワークシートを準備し、一定時間集中してきちんと机に向かうように学習習慣の形成を心がけた。

### (3) 成果等

- ハイキングや星空観察では自然の中ですばらしいものに素直に感動する豊かな心をはぐくむことができた。
- 構成的グループエンカウンターの活動を通して、入学間もない学年学級の中で新たな友人との出会いを演出することができた。また、振り返りの時間の中で望ましい人間関係づくりのための心構えについて自らを省みる機会を得た。
- スタディタイムを設けたことや長期宿泊を伴う生活で規則正しい生活を送ったことで、規律ある集団活動の中で規範意識や仲間意識が生まれ、その後の学校生活が円滑で前向きなものとなった。

○ 生徒や保護者からも、「とても楽しく思い出に残った。」「友だちとたくさんふれあえる機会があってよかった。」などの声が寄せられた。

## 2 学校の推進体制と学校支援委員会の活動

### (1) 学校の推進体制と学校支援委員会の活動の概要

- ・学校支援委員会により宿泊体験学習の基本的な方向性や、そのための地域・保護者の援助体制の在り方について話し合いがもたれた。
- ・支援委員会を通じて、ボランティアの指導員の卒業生、看護師の方の推薦がだされ、当日の教師をサポートする体制が整った。
- ・学校支援委員会によって、今年度の取り組みを総括する会議が行われ、来年度に引き継ぐ事項、来年度に向けての課題などが話し合われた。

### (2) 成果等

- ・事前事後の十分な話し合いにより、施設設備の使い方、日程の細部に至るまで、宿泊体験学習について十分な検討を進めることができ、安心して当日を迎えることができた。
- ・宿泊施設など関係諸機関や地域の人材、教材について十分な情報提供が行われた。

## 3 今後の課題と改善点

- ・宿泊施設の関係で、年間のどの時期に体験学習が可能であるか毎年スケジュールが変更になることが予想される。実施する時期によって生徒の実態やそれに伴う計画内容が大きく異なるので、前年度までの実践を効果的に生かすには周辺の他の中学校との情報交換など、さらなる連携が必要である。
- ・特別支援の必要な生徒が参加する場合、あるいは今年度のように体調を崩して途中帰宅するような生徒が出た場合の保護者と学校間の連携についてさらに細部を検討しておく必要がある。
- ・ボランティアの指導員の生徒に対する指導援助の内容、宿泊して指導にあたる教職員の健康管理など、無理のない継続可能な体制を整備する必要がある。